

中間決算説明会

2006年11月21日(火)

日本テレビ放送網株式会社



目次



決算概要	P 3
単体損益計算書.....	P 6
スポットセールス業種別シェア	P 7
業績予想	P 8
参考資料：設備投資額と減価償却費予想.....	P 10
番組編成	P 11
参考資料：視聴率動向	P 14
参考資料：巨人戦ナイター 視聴率推移.....	P 16
文化事業関連	P 17

連結損益計算書 ハイライト



- 日本テレビ単体の放送収入の減少が影響
- 子会社バップは、日本テレビ関連作品のDVD販売が好調なものの、昨年あったヒットアルバムCDがなかったため、売上減少
- 持分法の投資損益の改善、投資事業組合運用益の増加により、経常利益、当期純利益は増加

(単位:百万円未満切捨)

	2005年 中間期	2006年 中間期	伸率(%)
売上高	175,510	165,870	△ 5.5
営業利益	13,198	12,472	△ 5.5
経常利益	13,742	14,628	6.5
中間(当期)純利益	4,393	7,770	76.9

連結キャッシュ・フロー状況



(単位: 百万円未満切捨)

	2005年度 中間期	2006年度 中間期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,153	19,075	4,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,151	△ 6,410	3,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,776	△ 2,339	11,436
現金及び現金同等物中間期末残高	57,149	69,674	12,524

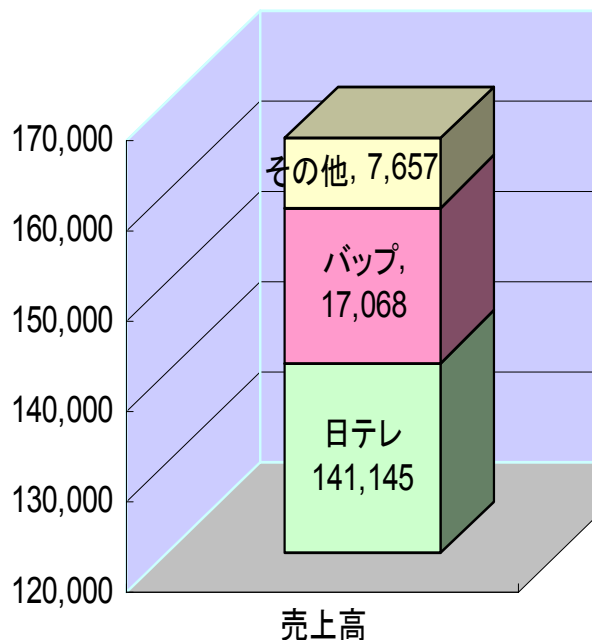
連結・単体比較



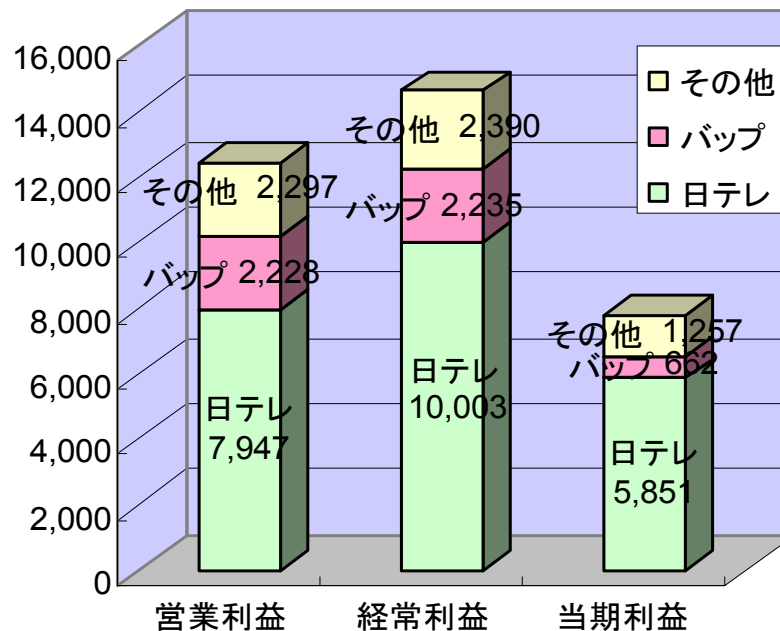
(単位:百万円未満切捨)

	連結	単体	連単差
売上高	165,870	141,145	24,725
営業利益	12,472	7,947	4,525
経常利益	14,628	10,003	4,625
中間(当期)純利益	7,770	5,851	1,919

(単位:百万円)



(単位:百万円)



* バップの当期利益は少数株主分を考慮しています

単体損益計算書 ハイライト



- 放送収入(タイム、スポット)が減少
- イベント、映画、通販事業などの事業収入は増加
- 番組制作費は、FIFAワールドカップサッカー ドイツ大会があったものの、レギュラー番組のコストコントロールで対前年比微減
- 投資事業組合運用益の計上により、営業外収益が増加

(単位:百万円未満切捨)

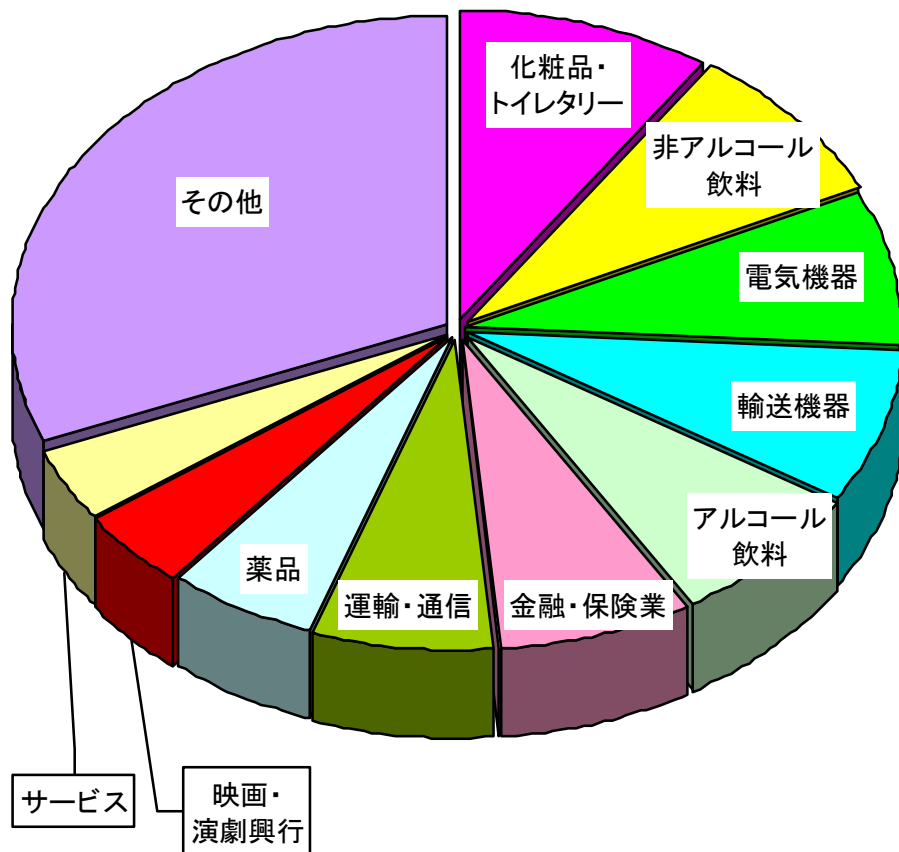
	2005年 中間期	2006年 中間期	伸率(%)
売上高	144,194	141,145	△ 2.1
営業利益	8,699	7,947	△ 8.6
経常利益	9,626	10,003	3.9
中間(当期)純利益	1,338	5,851	337.2

* 昨年度は投資有価証券評価損79億円の特別損失計上がありました

スポット業種別シェア



(%)



	シェア	伸率
化粧品・トイレタリー	9.47	△ 2.4
非アルコール飲料	8.33	13.3
電気機器	8.15	10.9
輸送機器	7.93	△ 4.7
アルコール飲料	7.52	△ 4.4
金融・保険業	7.24	△18.3
運輸・通信	6.61	△12.9
薬品	5.58	△12.3
映画・演劇興行	4.21	14.4
サービス	3.88	39.3
その他	31.08	△17.72

業績予想



(単位: 百万円)

2006年度通期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	330,000	19,500	22,000	12,500
単体	282,000	11,500	15,000	8,500

★ 単体、連結ともに11月1日に業績予想を修正しました

セグメント別業績予想



(単位: 百万円)

2006年度通期	売上高	営業費用	営業利益
テレビ放送事業	266,300	237,500	28,800
文化事業	58,500	55,100	3,400
その他の事業	13,100	12,800	300
合計	337,900	305,400	32,500
消去又は全社	△ 7,900	5,100	△ 13,000
連結	330,000	310,500	19,500

★ 今回、予想の見直しをしました

参考資料：設備投資額と減価償却費予想



(連結ベース)

(単位：億円)

	設備投資予想	減価償却費予想
2006年度	76	147

(単体ベース)

(単位：億円)

	設備投資予想	減価償却費予想
2006年度	71	138
2007年度	95	135
2008年度	77	125
2009年度	59	109
2010年度	80	102

★ 今回、予想の見直しをしました

10月改編の総括



■『NEWS ZERO』

- 新しいキャスター陣、斬新なスタジオセットなど、積極的なチャレンジで23時台に新風
- 『きょうの出来事』に比べ、視聴者ターゲットが若返りつつある
- 年末プライムタイムや土日タテでの『ZERO』関連特番の編成で、更なるブランド力のアップを目指す

■ドラマ

- 水曜ドラマ『14才の母』は平均視聴率で18%を超え、T層を中心に大きな話題を呼んでいる。この枠での久しぶりの大ヒット
- 土曜ドラマ『たったひとつの恋』は、平均視聴率も徐々に上がりつつあり、最終回に向けてPRを強化 →ドラマに強い日本テレビのイメージができつつある

■その他プライムタイム

- 月曜 22時『極上の月夜』、木曜 20時『くりいむしちゅーのたりらりでイキます！！』など新番組がすぐに高視聴率を獲得するのが難しくなっている傾向にある
- 日曜 23時30分『Music Lovers』はKDDI一社提供の正統派音楽番組

年末以降の編成

■1月ドラマ

水曜ドラマ『ハケンの品格(仮)』

篠原涼子演じるスーパー派遣OLの活躍を通して「働くことの大変さと素晴らしさ」を描く

* 篠原涼子、中園ミホ、プロデューサー＝樫山裕子は、ドラマ『anego』のトリオ

『anego』で働く30代の女性の気持ちを見事に切り取った、中園ミホが描く新しい女の「オシゴトドラマ」

土曜ドラマ『演歌の女王』

『女王の教室』で一世を風靡した天海祐希が
今度は演歌の女王になる!

主人公は売れない演歌歌手。どんなに不幸が続いても、強く逞しく美しく生き抜く
スーパーヒロインの物語をコミカルに描く。脚本＝遊川和彦

1月期主軸ドラマ

演歌の女王

■年末年始

大晦日の『ウイークエンダー』『ガキの使い』など、日本テレビの発明品である
バラエティ番組を編成

中長期編成

■タイムテーブルの構造改革

- 4回の改編でタイムテーブルの構造改革を推進
 - * 2006年10月期＝23 時台
 - * 2007年 4月期＝ゴールデン・プライムタイムの大幅な改編
 - * 2007年10月期＝ノンプライム
 - * 2008年 4月期＝全ての時間帯での仕上げ
- 視聴率及び収益力が大幅アップするタイムテーブルを完成

■戦略週および単発編成

- 2006年は設定した戦略的特番編成週のうち、7月17日週、8月21日週の2回視聴率四冠王達成
→2007年も戦略的特番編成などを積極的に実施
- 単発で重視するのは、映画・スペシャルドラマ・スポーツ・知的エンタテインメント
特に映画は、日本テレビ出資作品が興行収入だけでなく、地上波放送で高視聴率を獲得できるいい循環ができつつある
 - * 『ALWAYS 三丁目の夕日』『デスノート』ジブリ作品など

年間平均視聴率

(2006年 1月 2 日-2006年11月12 日 / 45 週間)

出所: ビデオリサーチ

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	8.6	7.9	9.3	7.7	3.7	44.1
昨年同期	8.9	7.8	9.4	7.9	3.7	44.7
プライム	12.6	12.7	14.4	12.6	7.8	65.8
昨年同期	13.0	12.9	14.3	13.1	7.7	67.1
ゴールデン	12.4	12.8	14.2	11.8	8.3	66.5
昨年同期	12.9	12.8	14.0	12.7	8.4	68.0
ノンプライム	7.5	6.5	7.9	6.2	2.6	37.8
昨年同期	7.7	6.4	8.1	6.4	2.6	38.2

視聴率動向②



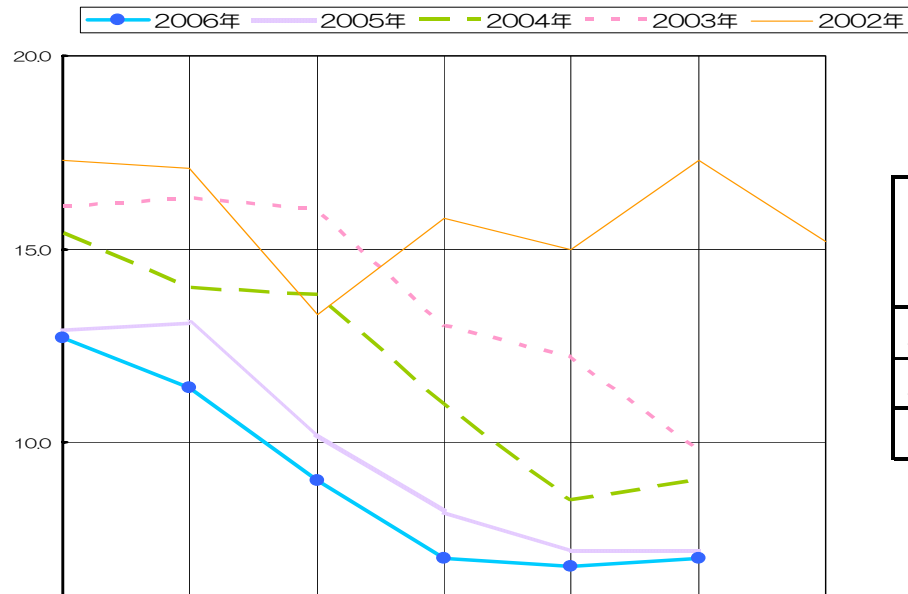
年度平均視聴率

(2006年 4月 3日 - 2006年11月12 日 / 32 週)

出所: ビデオリサーチ

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	8.3	7.7	9.2	7.5	3.7	43.4
昨年同期	8.7	7.8	9.4	7.7	3.7	44.2
プライム	12.2	12.6	14.4	12.4	7.9	65.2
昨年同期	12.7	12.8	14.4	13.2	7.8	66.7
ゴールデン	11.9	12.7	14.1	11.6	8.4	65.8
昨年同期	12.4	12.8	14.1	12.8	8.4	67.6
ノンプライム	7.2	6.4	7.8	6.1	2.5	37.1
昨年同期	7.6	6.4	8.0	6.2	2.6	37.8

巨人戦ナイター 視聴率推移



巨人戦視聴率比較（年間）

	NTV		他局		全平均	
	放送 試合 数	視聴率 (%)	放送 試合 数	視聴率 (%)	放送 試合 数	視聴率 (%)
2006年	60	9.4	46	9.8	106	9.6
2005年	66	10.1	63	10.3	129	10.2
差		▲0.7		▲0.5		▲0.6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全平均
2006年	12.7	11.4	9.0	7.0	6.8	7.0		9.6
NTV	13.3	10.4	9.9	7.2	6.8	6.6		9.4
他局	12.0	12.1	8.4	6.8	6.8	8.8		9.8
2005年	12.9	13.1	10.2	8.2	7.2	7.2		10.2
2004年	15.4	14.0	13.8	11.0	8.5	9.0		12.2
2003年	16.1	16.3	16.0	13.0	12.2	9.8		14.3
2002年	17.3	17.1	13.3	15.8	15.0	17.3	15.2	16.2

2006年10月30日現在

データ:ビデオリサーチ 関東地区

※地上波放送のみを対象としています。BS・CSでの放送は対象としておりません

※月の区切りは週(月～日)単位です。3月最終週に放送された開幕カード分は4月度に含めて集計しています

※月別平均視聴率表・グラフはナイター中継(日曜17時試合開始を含む)の平均、デーゲーム及び深夜の録画放送は含めておりません

映画事業

- 「DEATH NOTE」前編 6月17日公開 興行収入約 28億円(150日間)
Last Name (後編)11月 3日公開 興行収入約 31億円(17日間)
10月27日の金曜ロードショーの放送が後押しとなり、大ヒット
前編・後編のBOX DVDも来年発売予定
- 「ゲド戦記」7月29日公開 興行収入約 76億円(105日間)
- 「愛の流刑地」(主演:豊川悦司 寺島しのぶ)2007年 1月13日より公開
- 「ALWAYS 続・三丁目の夕日」2007年11月公開予定

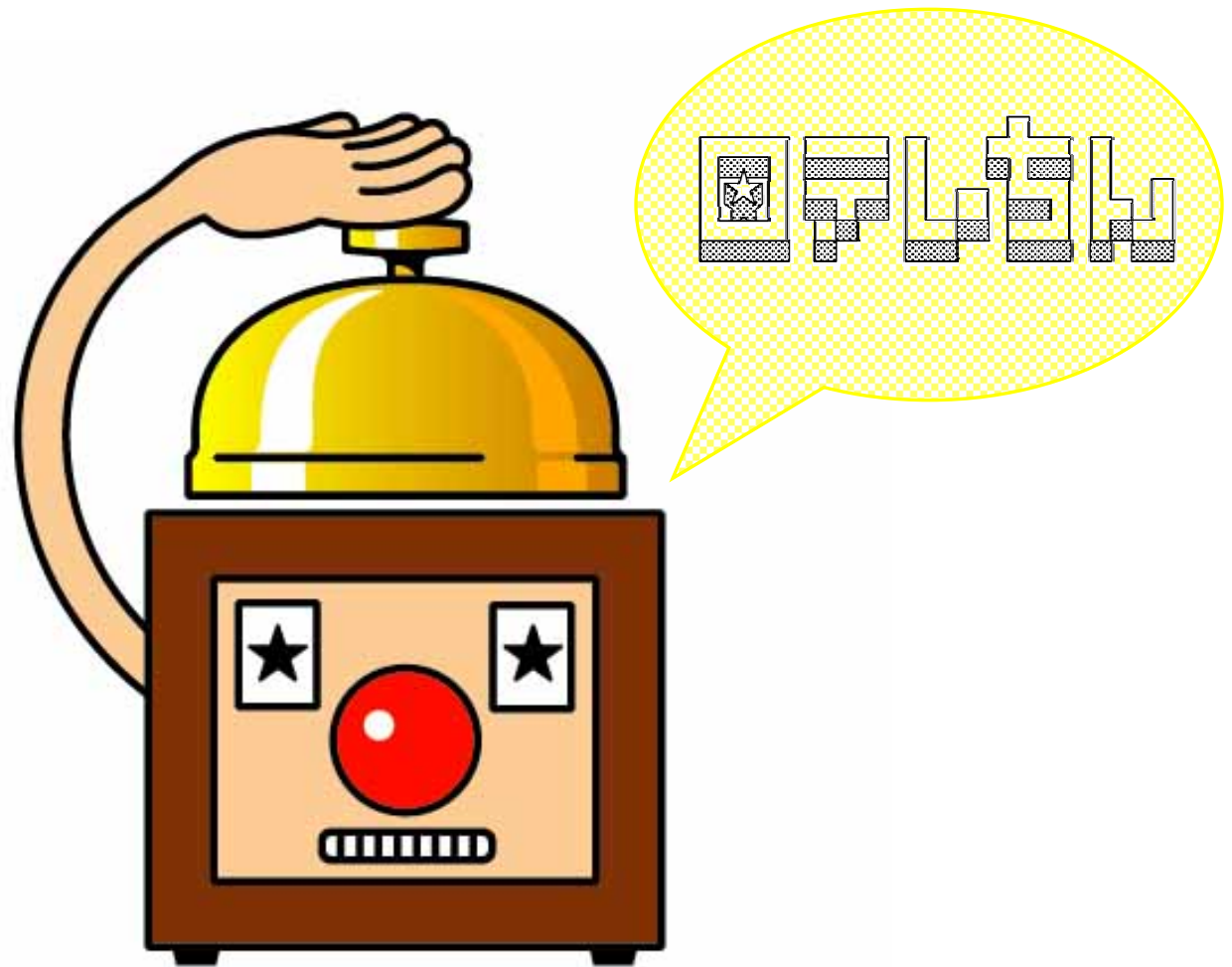
通販事業

- 放送枠増加に伴い、単体売上は前年同期の2.6 倍
売れ行きが好調なラインアップを維持することで、利益率も向上
ニンテンドーDS Lite、ロデオボーイ、HAMANOバッグ、ボージョボー人形などが人気

事業イベント

- 「大エルミタージュ美術館展」(10月19日～12月24日)好評開催中
来場者数約 11.5万人(11月12日時点)





経営計画室IR部